

白山市観光の次の突破口をとともに創る

令和7年度

白山市ユニバーサルツーリズム フィードバックセミナー

体験者の声から、新しい商品を。
障がい者モニターツアーの学びを次のUT造成へ

白山市観光連盟では2025年夏に視覚障がい者・車椅子利用者とその介助者をお招きしユニバーサルツーリズム（以下UT）のモニターツアーを実施しました。

各参加者ならびに帯同したUT専門家の淵山氏から多くの気づきや評価、そして有益なアドバイスをいただきました。

今回のセミナーでは、クロストーク形式でその実施内容を振り返りつつ参加者の声をフィードバックすることで、白山市のUT推進を加速するとともに、UTツアー造成の検討も行っていきたいと考えています。

当日は昨夏ご参加いただいた視覚障がい者の久保田さん、UT専門家の淵山さんなどをゲストにお迎えしていますので、多くのご参加をお待ち申し上げます。



講師：ユニバーサルツーリズムアドバイザー

淵山 知弘 氏

office FUCHI ～オフィス・フチ～ 代表

- ・ 東京都東京観光産業アドバイザー
- ・ 高知県（バリアフリー）観光特使

ファシリテーター：橋屋 哲 氏

株式会社REプランニングワークス 代表

1980年近畿日本ツーリスト入社、2021年に独立し、北陸エリアを中心に数多くの自治体事業を受託。



参加費
無料

令和8年 3月17日（火）

13:30 ▶ 15:00

会場 鶴来コミュニティセンター 1階ホール

（白山市役所鶴来支所1階）

お申込み・お問合せ

一般社団法人 白山市観光連盟

☎ 076-259-5893

✉ hakusan@urara-hakusanbito.com

申込フォーム



※3月10日（火）までにお申し込みください

ユニバーサル受け皿整備は、もはや修学旅行誘致の不可欠条件！

従来の学校教育スタイルは、障がいを持つ子どもたちだけの特別学級や特別支援学校などで、健常者との区別が明確になされていました。

いまも特別支援学校などは存在するものの、本人や家族の意志より通常クラスで学ぶ子どもたちが増えてきています。ダイバーシティの考え方からも多様性を認め、分け隔てのない教育スタイルが一般化していく中で「1クラスに1人の車椅子利用者がある」という仮説を持って修学旅行誘致と地域づくりを図っていかねばなりません。

ユニバーサルツーリズムと聞くとマイノリティなイメージから「少数ターゲットへの施策は後回し」とする自治体や観光団体が少なくありませんでしたが、もはや「UTの取り組みに遅れをとる地域は、修学旅行に選ばれない地域」と言っても過言ではありません。

2025年に実施したモニターツアー内容

車椅子利用者・視覚障がい（弱視）の方に参加いただきました

※両名とも介助経験者が同行



	視察検証先	内容
1日目	キッシュハウスQUI	昼食
	スカイ獅子吼パラグライダースクール	視覚障がい者のタンDEM飛行体験
	白山比咩神社	昇殿参拝でバリアフリー環境を検証
	獅子ワールド館	加賀獅子頭のタッチツアー体験
	もく遊りん	夕食
	ニュー松任ターミナルホテル	ユニバーサルルームの設備等を検証
2日目	トレインパーク白山	車椅子での運転シュミレーター体験
	浅野太鼓楽器店	製造工程の見学と太鼓打ち体験
	道の駅めぐみ白山	昼食（お買物）
	白山市市民交流センター	意見交換



スロープ等の
移動課題を検証

パラグライダー
体験に感動！



太鼓店で、くり抜かれた内側の
紋様の違いで反響音が変わる体験

セミナーでは本ツアーを振り返りながら、参加者の声をフィードバックします。